

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	滑田 明暢	所属	静岡大学大学教育センター
研究会等名称	ジェンダー研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数（会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください）</p> <p>会員 3 名（うち認定心理士 0 名） 非会員 3 名（うち認定心理士 0 名） その他オンライン（オンデマンド配信）参加者 ※日本心理学会第 86 回大会のオンライン（オンデマンド配信）企画でしたため、企画登壇者の人数のみ記載をしています。</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 （実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください）</p> <p>日本心理学会第 86 回大会公募シンポジウム （2022 年 9 月 8 日-11 日（ウェブ開催） 「教育現場における SOGI をめぐる現状と課題」 話題提供：町田奈緒士（名古屋大学） 樋口亜瑞佐（愛知教育大学） 河野禎之（筑波大学） 指定討論：葛西真記子（鳴門教育大学） 松並知子（同志社大学） 企画代表・司会：滑田明暢（静岡大学）</p> <p>日本心理学会第 86 回大会において、シンポジウムを企画し、実施した。 シンポジウムは、教育現場における SOGI をめぐる現状や課題に関する知見を共有し、議論することに焦点を当てて実施した。安心して学ぶことができる環境が想定される教育現場において、SOGI をめぐる現状や課題にどのようなものがあり、どのように対応できるかについて理解を深める機会とするため、総論、初等中等教育の学校現場および高等教育の現場での現状と課題について、上記の順に話題提供をいただき、議論を行った。</p> <p>昨今の SOGI（性的指向と性自認）という言葉の広がりによって、現場の関係者において性の多様性についての関心がもたれている一方で、SOGI という枠組みで個人が見られることで、かならずしもそれぞれの枠組みのイメージと個々の実情とが合わない事象があることがシンポジウムでは共有された。「こういうものだから、こう対応したらよい」といった紋切り型の見方や対応をされることによって、揺らぎのある個人が「何か違う」と感じる事象があることが示された。一人ひとりの多様性を認識することがあらためて共有をされたことが、本シンポジウムの議論の成果の一つである。</p> <p>シンポジウムでは、具体的にどのような方法で、どのように連携をして課題に向けた実践的取り組みを行っていくのか、教育の枠組みのなかでどのように取り組んでいくのかが課題として挙げられた。これらの課題についても議論をする機会をつくっていくことが将来展望として考えられる。</p>		

(様式5)

2023年 3月 24日

日本心理学会研究会 2022 年度会計報告書

研究会名称 ジェンダー研究会

研究会番号 22013

助成金額 ¥30,000

年月日	項目	金額
2023年1月15日	講師謝礼 (シンポジウム登壇 10000円×1名)	¥10,000
	講師謝礼 (シンポジウム登壇 10000円×1名)	¥10,000
	講師謝礼 (シンポジウム登壇 10000円×1名)	¥10,000
支出合計		¥30,000

研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
ジェンダー研究会				
研究集会開催日： 2022年 9月 8日-11日(木-日) (ウェブ開催)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	滑田明暢	静岡大学	○	
2	町田奈緒士	名古屋大学	○	
3	松並知子	同志社大学	○	
4	葛西真記子	鳴門教育大学		
5	河野禎之	筑波大学		
6	樋口亜瑞佐	愛知教育大学		
7	その他オンライン (オンデマンド配信) 視聴者			
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				